

## ガイドラインの審判をするにあたって

### 初めに

- ・ サービスオーダーの確認 ==> 副監督、マネジャーがエントリーされている場合は、必ず○をつけてもらう
- ・ サービスオーダーのサインは監督がいれば必ず監督
- ・ キャプテンマークは番号の上
- ・ ハーフパンツは色が同じであればよい、長短はNG
- ・ 腰タオルNG

### ジャンケン

- ・ 勝チームの サービス権orコートのサイド、ウォームアップの先後を聞く
- ・ ジャンケンの後 ウォームアップに入らずあいさつに入る

### あいさつ時

- ・ 整列をするときに主副審が分かれてチームに声かけをする
- ・ 線審は記録席後ろで 記録・点示も立つ
- ・ チームはエンドラインに整列してあいさつのみ 握手に行かない
- ・ プレーヤーは全員ユニホーム姿で並ぶ 防寒のための長パンツはNG

### ウォームアップ時

- ・ あいさつ後、ウォームアップに入る(合図の吹笛は 開始時 主審 → 交替時 副審 → 終了時 副審)
- ・ 必ずチームの準備ができているか確認、声掛けをしてから吹笛をする
- ・ 主審 審判台の上から目ならしをする
- ・ 副審 エントリーとサービスオーダーと背番号が同じであるか？  
監督、副監督、マネジャーのエントリーがあるか？確認する
- 記録 副審同様に行う
- ・ 線審 位置について目ならしをする

### 試合開始時

- ・ 副審の吹笛でウォームアップ終了後、両チームの様子を見ながら主審がサービス順に並んでもらうための吹笛をする
- ・ 全セット開始時、ベンチの交代プレーヤーも立ってもらって、背番号を確認
- ・ サービスオーダー確認時は記録 → 副審 → 主審へのOKサインは出すが、その後のファーストサーバーが出た時のOKサインは不要
- ・ 主審は、プレーボールの吹笛とハンドシグナル → サービス許可の吹笛・ハンドシグナル

### 試合中

- ・ 主審 反則のハンドシグナル → ポイントシグナル
- ・ 副審は常に 主審のハンドシグナルを追従する
- ・ 主審は、副審が要求を受けたタイムアウトやプレーヤー交代のハンドシグナルを追従する
- ・ チームを示すときは、コートを示す
- ・ タイムアップ時やプレーヤー交代が完了し、試合を再開するときはOKのサインは必要
- ・ チームは1セットに3回プレーヤー交代ができる 交代はベンチにいる誰とでもできる
- ・ プレーヤー交代時、副審は交代プレーヤーを記録席近くのサイドラインに導き、片方の手を上げてもらう  
副審もサイドライン手前にネット側を向いて位置取り、記録員からのOKサインにより交代させる

### セット終了後

- ・ 吹笛とハンドシグナルで締めた後、並ばせずにチェンジコートの吹笛とハンドシグナル
- ・ 2セット目終了後、3セットになった場合 チェンジコートはしない 吹笛とハンドシグナルで締めるだけ

### 試合終了

- ・ チームはネット越しに並び主審台側にキャプテンが立ち、あいさつ(握手)をする
- ・ 記録、点示も立つ 線審はそのままの位置であいさつをし、主副審と同じタイミングで戻る

## スコアシート

- ・ 次のセットは全てそのまま書き写してから交代があれば2重線で消して書きかえる(S欄も)
- ・ Bチームが3セット目のサービス開始チームの時、右側のBに○をつけ忘れない
- ・ プレーヤー交代時、S欄へは下段の左から記入していく 下段が埋まれば交代3回終了 交代したプレーヤーは斜線で消す
- ・ 最終得点に○をつける
- ・ 1時間以内の場合、○○分のみ 0時間とは書かない

## 線審

- ・ 旗は巻かずに持ち手部分で束ねる タイムアウト時は横、セット間は後ろで持つ  
試合開始時と終了時は巻いて後ろで持つ
- ・ プレーヤーがボールに 1度触れてコート外に落ちたら ワンタッチシグナル  
2度、3度触れれば 担当ラインがアウトシグナル

## 点示

- ・ 1点ずつ立って点数を入れる

## 監督

- ・ 要求をする時は必ず立ち上がってもらい 要求時以外は着席しててもらい

## 交代プレーヤー

- ・ ウォームアップはベンチ横 立っているだけはダメ

## 反則

- ・ ドリブル  
ブロック後同じプレーヤーが触れば反則 ただし2人同時に当たったあとはOK  
ブロック後ハンドリングのバラつきでもドリブルの反則
- ・ タッチネット  
ラリー中 ボールと関係のないところやタイミングでもネットに触れるとタッチネットの反則
- ・ サービス  
サービス許可を待つときもサービスゾーン内にサーバーは居ること
- ・ サービスオーダ違反の処置  
記録から副審に告げる
  - ① ボールが床に落ちた又は打った時点で副審は吹笛のみ(トスをした時点でサービスオーダ違反は成立)
  - ② サービスオーダと記録用紙で確認 正しいサーバーと次のサーバーを覚える)
  - ③ 両チームのサービスオーダを持ち 主審に「サービスオーダ違反がありました 正しいサーバーは○番でした 次のサーバーは×番です」と伝え戻る
  - ④ 主審は両チームのキャプテンを呼び「サービスオーダ違反がありました 正しいサーバーは○番でした 次のサーバーは背番号△番です (相手)チームに1点が入り、サービス権が移行します」と伝える
  - ⑤ 主審 ポイント 副審 追従  
記録 得点には○をし、特記欄も記入 [反/チーム/セット ○番のサービスを×番が打った] (わかるように記載)

## 代表チーム全国大会での所作について

### 審判団として

- ・ 担当審判コートに入っていくときは まとまって一審判団として 動く
- ・ スケールでネットの高さチェック
- ・ ジャンケンコート記録席前にて行う スコアシートにサービス順記入後、あいさつに入る
- ・ 点示板は両エンドライン側にあるので、目をあわせながら同じタイミングで 起立 → 得点 → 着席 する

### チームとして

- ・ 保温のためのサポーターはNG
- ・ ベンチに上着等を置かない
- ・ 飲み物はベンチの下に入れる